学　校　長様
生活科担当様
総合的な学習係様

令和２年１２月

信州教育出版社

信州の生活科・総合的な学習の時間 実践誌

ふるさとの大地

第２４号発刊　購読のご案内

編集　公益社団法人 信濃教育会
Ｂ５判 / 本文 72 ページ / カラー口絵４ページ
発行１月末日　定価 ５００円（税込）

テーマ　子どもの物語を見ていく

■ 特集
座談会「信州の生活科・総合的な学習の時間に求めること」
文部科学省　教科調査官　渋谷一典先生をお迎えして

■ シリーズ
⑦　生活科・総合的な学習と学力
～アイガモとのくらしを共に創った担任と教え子が、当時を振り返る中でみえてくるもの～
旧戸倉町立戸倉小学校　　酒井康行先生の実践

■県内各地の生活科・総合的な学習実践事例、コラム、実践ライブラリーなど

【実践事例】
★せぎと子どもと、わたしから（４・５年）　安曇野市立豊科北小学校　中込郁惠
★おたまと魚とぼくたちの三年間（１～３年）　富士見町立本郷小学校　星野こず恵
★ありがとう、翔さん（１～３年）　上田市立南小学校　西元沙希
★みこといっしょ ～共に育ったみこと子ども、そして私～（１・２年）　佐久市立佐久平浅間小学校　松元可南子
【コラム】
★飴作りはまちづくり（中学１・２年）　信州大学教育学部附属松本中学校　北沢康孝
★遠山の歴史と魅力を知り、故郷の方々の生き方に学ぶ（中学１～３年）　飯田市立遠山中学校　伊藤扶美代
★善光寺ウォーク ～課題を追究し学びを深めていく生徒の姿～（中学１年）　長野市立長野中学校　末松辰規
★すごいぞ！　屋代町！（３年）　千曲市立屋代小学校　市川奈穂子

●内容についてのお問い合わせは…
中村和雄（若穂中 校長）・田中和幸（野沢温泉小 校長）・浅井かよ子（千曲市立東小 校長）・島尻理恵子（南箕輪村立南部小 校長）・山岸澄雄（美麻小中 校長）
●ご注文は、しんきょうネット各営業所まで
＊＊＊＊＊＊ FAX でのご注文は、フリーダイヤル 0120-25-1098 ＊＊＊＊＊＊
北部営業所 TEL.026-284-5541・中部営業所 TEL.0263-47-6629・東部営業所 TEL.0268-23-1152・南部営業所 TEL.0265-81-0361

【北信】ありがとう、翔さん（飯山小１～３年）

子どもたちのやりたいと思ったことのできる生活科を大切することで、子どもたちは変わるという手応えを感じていた教師が、生活総合を学級の中心に据えても、集団に入れない子と出会います。そして、これまでの自分は「やりたいことのできる場」を設定していただけであって、活動するその子の思いを感じ取ろうとしていなかったことに気づき、「子どもをみる」とはどういうことなのか改めて考えていきます。

【中信】せぎと子どもと、わたしから（豊科北小４・５年）

教師からの提案をもとに「せぎ」での活動をしていく中で、子どもたちは教師の思惑の外で、問いや願いをもって動き出していきます。その姿を目の当たりにし、教師は子どもたちに活動を任せることを決めます。友達とかかわりながら自分から動く姿、活動したことを堂々と発表する姿を見た教師はその姿に成長を感じ、その子にとっての学びを意味づけることの大切さに気づいていきます。

【東信】みこといっしょ ～共に育ったみこと子ども、そして私～（佐久平浅間小１年）

初めて教師になり、１年生と始めたヤギの「みことのくらし」。生活科の時間、みこと関係ないことをしているように見える姿をよく思えないでいた教師。しかし、一緒に活動していく中で、しだいに子どもたちの姿の背景が感じられるようになっていきました。みこを思いながら活動する子どもたち、そして子どもの思いに寄り添いながらかかわる教師は、どのように育っていくのでしょうか。

【南信】おたまと魚とぼくたちの三年間（高島小１～３年）

プールで捕ったおたまじゃくしを自分たちで掘った池で飼い始めた子どもたち。しかし、その大半がいなくなってしまい、ちゃんと生き物が住むような池作りに取り組みます。できあがった池で順調に魚を飼う中で、突然起きた「水がわり」。その原因を探り、池をさらに改良しようと動き出していく子どもたち。魚を大切に飼いたいという思いのもと、思い通りにならない状況を何とかしていきます。

主体的な学びが大切だと言われるが、教科書の進度や行事に追われる日々。けれど、私たち教師の心の奥底には、「子どもと共に無我夢中になる授業がしたい」「子どもたちと一緒にとことん探究したい」という炎が灯っている。『ふるさとの大地』には、その炎を燃えたぎらせるエネルギーがある。同時に、子どもの柔らかな見方、子どもの想い等、子どもの姿で多くのことを示してくれ、教師の子ども観が変わる。熱く燃える信州教育のバイブル『ふるさとの大地』に触れ、自分の中の炎を燃え上がらせたい。
（軽井沢西部小学校校長　牛木剛二）

『ふるさとの大地』を娘と一緒に眺めながら、小学校からの総合学習について話をしました。花壇作りで友達とデザインから考えたことや、竪穴住居を作った思い出を語り、「竪穴住居の建て方ってお母さん知らないでしょ」と自慢げに話す娘。友達と協力しながら教室を越えた大きな学びを経験してきたことを感じました。また、他の中学校の実践も読み、娘にとっても刺激になったようです。『ふるさとの大地』を通して子どもと対話する機会をもてました。ぜひ、多くの保護者にも読んでもらいたいと思います。
（中野市立豊田中学校　保護者）

『ふるさとの大地』を読むと、先生方が悩み、前へ進む姿が浮かんでくるときがあります。
自分について振り返ると…子ども自ら動いていってほしいのに、ついつい口を出して主導してしまう自分、この活動をすることでこの先はどうなるのだろうかと頭の中で勝手に何かを思い描き、行き詰まってしまう自分…。
そんな自分に、「まずはやってみて」「まずは活動しようよ」と背中を押してくれたのが、私にとっての『ふるさとの大地』です。「活動あって学びなし」ではなく、「まずは活動、その中から子どもたちの学びをみていくことが大切なんだ」と気づかせてくれる一冊です。
（塩尻市立吉田小学校　下田真代）

初めての生活科で何をしたらいいのか……と困っているときに、『ふるさとの大地』を紹介していただきました。実践の中での先生方の葛藤や喜び、子どもたちの成長が詳しく書かれています。子どもたちが自らの願い達成のために頑張る姿からエネルギーをもらい、「私も子どもたちとこういう活動がしたい！」と強く感じました。行き詰まったとき、元気が出ないときなど、何回も読み返しています。ぜひ、多くの方に読んでいただきたいです。
（南箕輪村立南部小学校　小林彩紗子）

・下記注文書をご利用いただき、「しんきょうネット」へお申し込みください。本のお届けは、2 月以降になります。

ふるさとの大地 第24号 注文書

下記のとおり注文します。　令和　　年　　月　　日

所　属　名	
責任者氏名	

注文の合計

公　用	冊	計　　冊
個人用	冊	

個人注文者氏名	冊数

個人注文者氏名	冊数